

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	小樽市さくら学園		
○保護者評価実施期間	令和8年3月23日		～ 令和8年4月20日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	6名	(回答者数) 4名
○従業者評価実施期間	令和8年3月9日		～ 令和8年4月20日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	1名	(回答者数) 1名
○訪問先施設評価実施期間	令和8年3月23日		～ 令和8年4月20日
○訪問先施設評価有効回答数	(対象者数)	6件	(回答者数) 6件
○事業者向け自己評価表作成日	令和8年4月20日		

○ 分析結果

	事業所の強み(※) だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	当事業所を利用しているお子さんが多いため、お子さんの特性を把握しやすい、また、個別に取り組んだ方が良いことを直接事業所にお願しやすい。	事業所の職員と連携・相談しながら訪問先の様子を伝え、支援につなげている。	一人ひとりのお子さんの成長に繋げていけるよう、事業所の職員とさらに密に連携を図る。
2	保育士、児童指導員という視点で、集団の役割、強みを把握しやすい。	家庭やお子さんの個性のみに偏り過ぎないように、集団の中でどのような形を取ることがお互いの成長に繋がっていくのか意識をしている。	より専門的な視点、知識、繋がりを持てるよう研鑽していく。
3	一人ひとりのお子さん、ご家庭、訪問先に丁寧な支援・援助を行っていきけるよう、体制を整えている。	支援内容や考えを出来る範囲で、ご家庭や訪問先に伝え、共通理解に繋がるよう努めている。	利用されるご家庭が増え、色々なお子さんが集団に参加する機会が増えるよう、保育所等訪問支援の制度を知ってもらえるような取り組みを行っていく。

	事業所の弱み(※) だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1			
2			
3			

公表 保護者からの事業所評価の集計結果

事業所名 小樽市さくら学園

公表日 令和8年4月21日

利用児童数 6名 回収数 4件

	チェック項目	評価				ご意見	ご意見を踏まえた対応
		はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない		
環境・体制整備	1 訪問支援に使用する教員教材が整えられていますか。	4				お話をきけるようになり、言葉や文字が分かるので口頭でのやり取りができるようになり、最低限の教材で良くなったと思います。足形などは大変ありがたかったです。	訪問先としっかりと相談しながら継続して行える教材を考えていきます。
	2 プライバシーに配慮された面接室等が整えられていますか。	4					
	3 事業の目的が適切に説明されていると思いますか。	4				直接幼稚園とお話をしてくれたり、報告書などでこうした方が良いという配慮等も伝わり、幼稚園側も理解につながると強く感じます。	引き続き、目的の理解に繋がるよう努めていきます。
	4 保育所等訪問支援の頻度や時間について、相談の上決定されていますか。	4					
適切な支援の提供	5 こどもの状態に応じた支援が提供できる職員（職種や人数）体制だと思いますか。	4				本人の成長もあり、去年より支援が適切な体制で行われていると強く思います。（去年は参観日やイベントでの支援の日が多かった）	適度な支援を目指し取り組んでいきます。
	6 こどものことを十分に理解し、こどもの特性等に応じた専門性のある支援が受けられていると思いますか。	4				子どもの特性において、受け入れられることとそうではないことを見極めたり、出来る範囲で本人のペースに合わせて対応してくれています。家や幼稚園など、それぞれの場所での振る舞いを理解していただいています。	一人ひとりの個性や特性を把握し、支援方法を研鑽していきます。
	7 こどものことを十分に理解し、こどもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、保育所等訪問支援計画（個別支援計画）が作成されていると思いますか。	4				親が子に求める課題が計画に十分に反映されています。	引き続き家庭からの情報やお子さんの様子から本人の意思を読み取り支援計画に盛り込んでいきたいと考えます。
	8 保育所等訪問支援計画（個別支援計画）には、訪問先施設や担任等の意向が盛り込まれていると思いますか。	3	1			幼稚園側の意向はレベルが高すぎずと思うので、保護者側の意向が盛り込まれていると思います。	訪問先の意向や出来る対応方法を一緒に考えながら取り組んでいます。
	9 保育所等訪問支援計画には、保育所等訪問支援ガイドラインの「保育所等訪問支援の提供すべき具体的内容」も踏まえながら、具体的な支援内容が設定されていると思いますか。	4					
	10 保育所等訪問支援計画に沿った支援が行われていると思いますか。	4				幼稚園での活動の中で、お友達とのやり取りやルールなど考えられることの内容が細かく計画に含まれていて、とてもわかりやすく支援が行われていると感じます。	支援員だけでなく訪問先でも取り組んでもらいやすいように配慮していきます。
	11 保育所等訪問支援を実施する際、訪問先施設に配慮した支援が行われていると思いますか。	4				保護者と幼稚園との間に入っただき、とても配慮されていると感じます。	保護者と訪問先施設が連携を取りやすいように引き継いでいきます。
保護者への説明等	12 事業所を利用する際に、運営規程、利用者負担等について丁寧な説明がありましたか。	4					
	13 「保育所等訪問支援計画」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。	4					
	14 事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行なわれていますか。	4				なわとびレッスンの無料レッスンの情報を教えていただきました。参加出来ず申し訳ありません。	色々な情報を得ながら、一人ひとりにあった支援方法を見つけていきます。
	15 必要なときにこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの健康や発達の状態、課題について共通理解ができていますか。	4				報告書でとてもわかりやすく伝えていただいています。同時にメモなどでも個別に伝えたいことを教えていただいています。	引き続き、お子さんの様子を全体で共有しながら取り組んでいきます。
	16 定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。	4				面談もそうですが、悩んだ時などとても相談しやすい環境であると思います。	さらに相談しやすい環境になるよう努めていきます。
	17 事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。	4				子どものことをとても理解し優しく支援いただいていると思います。	関係機関からの情報を元に理解に努めていきます。
	18 こどもや家族からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、こどもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。	4				困りごとなど、お話ししたことはすぐに答えていただき、家庭での支援方法も教えていただいたりしています。	より良い情報を伝えられるように努めていきます。
19 こどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。	4						
20 事業所は、訪問先施設からの相談等に適切に応じ、必要な助言と支援が行われていると思いますか。	4				幼稚園側の子どもについての気になる点について、相談にのっていただき、支援に反映されていると思います。幼稚園側の相談が割と少なく保育がまかせっきりになっているのでは？と思うこともあります。	少しずつ支援を減らしながら、訪問先施設内で対応していけるよう努めていきます。	

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた対応
	21	保育所等訪問支援を実施した際に、訪問先施設と訪問支援の内容について話し合いが行われていると思いますか。	4				報告書で分かりやすく伝えていただいています。報告書で伝えずらいことは直接伝えていただきました（ストレッチや縄跳びの結び方など）。	訪問先施設と直接や電話、記録等で意図を共有しているよう努めています。
	22	保育所等訪問支援を実施した際に、保護者に対して適切に共有がなされていると思いますか。	4					
非常時等の対応	23	定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信されていますか。	4					
	24	個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。	4					
	25	事業所では、緊急時の対応について訪問先施設と連携し、実践できるようにしていると思いますか。	4					
満足度	26	事業所より、子どもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか。	4					
	27	子どもは訪問支援を嫌がっていませんか。	4				出来ることは本人に一人でやらせてくれたり、困っていることなどあったら何をしたら良い？など教えてくれたり、時には見守り対応などで対応を変えて支援してくれているのでありがたいです。	訪問先施設に通うことが楽しみとなるような支援を目指していきます。
	28	事業所の支援に満足していますか。	4				いつもありがとうございます。訪問支援を利用していなかったら、幼稚園には通うことは出来ていなかったと思います。	ありがたいお言葉ありがとうございます。

公表

訪問先施設からの事業所評価の集計結果

事業所名		公表日		令和8年4月21日	
小樽市さくら学園		利用児童数		6名	回収数 6件
チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	ご意見	ご意見を踏まえた対応
1 訪問支援員からの助言や説明は、具体的にわかりやすく、取り入れやすいものですか。	6			大変助かっています。幼稚園の生活に沿った助言をしていただき役立てることが出来ました。本人の興味のある事柄や好み、それぞれの施設内での最近の様子について等を情報共有しながら話し合うことが出来ました。	引き続き、学園の様子と照らし合わせながらお子さんが無理のない範囲で幼稚園の生活を遅れるように努めていきます。
2 訪問支援員の支援に対する知識・技術等に満足していますか。	6			大変満足しています。学ばせていただいています。本人の特性を理解した上で必要な支援の方法を知ることが出来ました。特に、気持ちが乱れてしまったり切り替え出来ない場面においての対応の仕方は、実践的に役立つヒントとなりました。	引き続き、知識を深めながらどうしたら幼稚園の環境で対応しやすいのかを検討していきます。
3 訪問支援員は質問に対して、適時・適切に回答してくれていますか。	6			現場で行き詰った時など、解決に導いてくれました。行事への参加など、本人の目標に向けての支援の方向性ばかりではなく、幼稚園側にも寄り添った目線で親身になって助言をいただけたことがありがたかったです。	引き続き、お子さんの様子と周りの環境を鑑み、関係機関と連携をして取り組んでいきます。
4 保育所等訪問支援を利用したことで、課題や困りごとが解消または軽減されましたか。	5	1		沢山支えていただきました。感謝です。支援があったことで対象児の困り感が軽減され、集団生活を送ることが出来た。1日の活動の中のごく一部分の時間の訪問支援なので、日常的にはより多くの場面での課題や困りがありました。直接見えていなくても話を聞いてもらいある程度軽減されましたが、限られた時間と職員体制の中で常に一人の園児に支援することの限界も感じました。回数や時間などでは解決しない問題もありますが、制限の見直しなど訪問先に合わせた調整が可能になると良いのではと感じました。	訪問支援は、お子さんが集団の中で自分らしく楽しんで参加出来る方法、幼稚園の環境で対応しやすい方法を探りお伝えしていくことが大きな役割であると考えます。幼稚園で対応しやすい方法をもっと考えながら支援に繋げられるよう努力します。
5 事業所からの支援に満足していますか。	6			大変満足しています。ありがとうございました。集団での経験を増やすという目的を着実に達成することが出来たのは、訪問支援あってこそと感じています。支援計画や訪問支援の記録等を通して成果を記していただき、各施設や保護者に向けて重要な役割を担っていただいていたと思います。	お子さん一人一人が少しでも楽しく、周りから認められながら参加していけるよう努めていきます。
その他のご意見				ご意見を踏まえた対応	
<ul style="list-style-type: none"> ・いつも分かりやすく丁寧のご指導いただきありがとうございます。声掛けや、対応の仕方について、すごく勉強になります。 ・沢山相談に乗っていただき、とても難しくこちらで学べることもありました。親身になって支援していただきありがとうございます。 ・今年度も沢山ご配慮いただきありがとうございます。 ・1年間通しての訪問支援をしていただいたことで、支援の様子を見て学び、子どもを理解しようとする考え、関わり方が、園の職員全体により深まったと感じています。 ・成功する体験、好きなこと、やりたいことが出来た時の喜びや楽しさを感じられる活動が大きな成長へと繋がるのだと実感でき、その経験の大切さを学ぶことが出来ました。 ・本人にとっては、集団の中で皆と同じように一緒にという課題は難しいことだったと思いますが、大きな行事ごとに成長する姿を関係施設の皆さんと共有しながら保有することができ、大変心強かったです。その成長や変化は私達にとっても喜びと達成感を感じる事が出来ました。 ・訪問支援での園児に対する関わりだけでなく、保護者側に寄り添った目線で対応のサポートをしていただいたり、時には幼稚園側に寄り添った言葉をかけて下さり、関わるすべての人の中心で懸け橋になっていたと感じます。1年間に渡り細やかに支援していただきありがとうございます。 				<ul style="list-style-type: none"> ・学園での環境とは違い、幼稚園という大きな集団や、周りに合わせた行動をすることを学ぶ場となりました。家庭、幼稚園、支援者としての色々な立場から本人の出来る事、出来るようなことを見極め、相談させていただきながら少しずつ参加出来る場面が増えていくことを焦らずに支援させていただきました。 ・周りに受け入れてもらえることで、こども自身大きな成長を見せてくれることを実感しています。引き続き、家庭、幼稚園、支援側からの一人一人のお子さんの発達を共有し、相談し合いながら支援をさせていただきたいと考えます。 	

公表 事業所における自己評価結果

事業所名		公表日 令和8年4月21日			
小樽市さくら学園					
	チェック項目	はい	いいえ	工夫していると思う点・改善が必要だと 思われる点など	課題や改善すべき点
環境 ・ 整備 ・ 運営	1 訪問支援に使用する場合の教具教材は適切であるか。	○		お子さんに合わせた教具、アイテムを準備し 対応してきた。	
	2 利用希望者に対して、職員の配置数は適切であるか。	○		その年によって利用数の差があるため、しっ かりと人員配置を確保することが難しいこと がある。	利用数の確保を安定させるために、制度の事 について周知を行う。
業 務 改 善	3 業務改善を進めるためのPDCA サイクル(目標設定と振り返り)に、 広く職員が参画しているか。	○			
	4 保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設け ており、その内容を業務改善につなげているか。	○			
	5 従業者の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善 につなげているか。	○		お子さんの担当職員、クラス職員、児童発達 支援管理責任者等と意見交換を行っている。	
	6 第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている か。	○			
	7 職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で 研修を開催する機会が確保されているか。	○		訪問支援向けの研修や情報交換の場があると ありがたいと感じる。	他事業所との情報交換を行っていく。
適 切 な 支 援 の 提 供	8 個々の子どもに対してアセスメントを適切に行い、子どもと保護者 のニーズや課題を客観的に分析した上で、保育所等訪問支援計画を 作成しているか。	○			
	9 保育所等訪問支援計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者 だけでなく、子どもの支援に関わる職員が共通理解の下で、子ども の最善の利益を考慮した検討が行われているか。	○			
	10 保育所等訪問支援計画を作成する際には、訪問先施設の担当者等と 連携し、訪問先施設や担任等の意向を盛り込んでいるか。	○			
	11 保育所等訪問支援計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行 われているか。	○			
	12 こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォー ムなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルな アセスメントを使用する等により確認しているか。	○			
	13 保育所等訪問支援計画には、保育所等訪問支援ガイドラインの「保 育所等訪問支援の具体的な内容」も踏まえながら、具体的な支援内容 が設定されているか。	○			
	14 保育所等訪問支援計画が職員間で共有され、計画に沿った支援が行 われているか。	○		訪問先の職員さんにも、計画に沿った対応を 意識していただいている。	幼稚園の環境でも取り組みやすい計画の作成 を行う。
	15 支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の 内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っている か。	○			
	16 支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援 の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	○		出来る限り気が付いた点などをその日のうち に確認するように行ってきた。終了時に訪問 先が忙しい時間帯であることも多く、電話や 記録等で確認を行っている。	記録だけでは一方的になってしまうため、訪 問先の意見もじっくりと聞けるような時間を 意識して取り入れていきたい。
17 保育所等訪問支援を実施する際、訪問先の理念や支援手法を尊重し て支援を行っているか。	○		訪問先の求めるところと、お子さんの出来る 範囲を見極めながら支援を行っている。		
18 毎回の支援に関して、記録を取ることを徹底し、支援の検証・改善 に繋げているか。	○				
19 定期的に保護者や訪問先の意向の確認やモニタリングを行い、保育 所等訪問支援計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っ ているか。	○		支援計画の目標期間に合わせ、確認と計画の 見直しを行っている。		
関 係 機 関 や	20 障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議 に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	○		担当者会議として、保護者、事業所の担当職 員、訪問先の幼稚園や他事業所の担当職員、 訪問支援員が参加している。	
	21 地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、 教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	○			
	22 就学時の移行の際には、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、 支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	○		就学時に訪問先で個別に情報共有を行ってい る。事業所としても、担当職員と共に、訪問 支援員として幼稚園での様子を伝えさせても らっている。	

	チェック項目	はい	いいえ	工夫していると思う点・改善が必要だと 思われる点など	課題や改善すべき点
保護者との連携	23 質の向上を図るため、積極的に専門家や専門機関等に助言を受けたり、職員を外部研修に参加させているか。	<input type="radio"/>		必要に応じて、医療機関でのリハビリの様子などを見学させていただくなど、アドバイスをいただいている。	
	24 (自立支援)協議会子ども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか。	<input type="radio"/>		施設長、相談専門員が参加し情報を共有している。	
	25 日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	<input type="radio"/>		幼稚園での様子を踏まえ、成長を感じた部分、家庭で協力して欲しいことをお願いを行ってきた。	幼稚園の様子を踏まえ、今後どのような支援をすると良いか一緒に相談させてもらいながら共通理解に努めていく。
	26 家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	<input type="radio"/>		事業所の親の会で行っている。	
保護者等への説明等	27 運営規程、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	<input type="radio"/>			
	28 訪問先施設に対し、事業の趣旨や訪問支援の目的等について適切に説明を行っているか。	<input type="radio"/>			
	29 保育所等訪問支援計画を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	<input type="radio"/>			
	30 「保育所等訪問支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から保育所等訪問支援計画の同意を得ているか。	<input type="radio"/>			
	31 定期的に、家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか。	<input type="radio"/>			
	32 父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機軸を設ける等の支援をしているか。	<input type="radio"/>		事業所として、親の会やきょうだいの会を行っている。	
	33 こどもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	<input type="radio"/>		電話や面談等で対応を行ってきた。	
	34 定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。		<input type="radio"/>	園日より等で事業所の情報を発信しているが、訪問支援の情報の発信はしていなかった。	訪問支援の情報を発信できる機会を作っていく。
	35 個人情報の取扱いに十分留意しているか。	<input type="radio"/>			
	36 障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	<input type="radio"/>			
訪問先施設への説明等	37 訪問支援に加え、訪問先からの相談等に適切に応じる体制を整え、必要な助言や支援を行っているか。	<input type="radio"/>			
	38 保育所等訪問支援の実施後に、訪問先施設とカンファレンスを行っているか。	<input type="radio"/>			
	39 保育所等訪問支援の実施後に、家族等へ適切に支援内容等の共有を行っているか。	<input type="radio"/>		必要時は電話で、普段は記録にて報告を行っている。	情報を整理しながら、引き続き適切な情報の共有を行っていく。
	40 個人情報の取扱いに十分留意しているか。	<input type="radio"/>			
	41 訪問先施設からの相談に適切に応じ、信頼関係を築きながら、専門的な助言を行っているか。	<input type="radio"/>			
非常時等の対応	42 事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	<input type="radio"/>			
	43 安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	<input type="radio"/>			
	44 ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	<input type="radio"/>			
	45 虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	<input type="radio"/>			
	46 どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか。	<input type="radio"/>			